



セキュラトピックス ～マイロック設置例の紹介～

今回ご紹介するのは、福岡県北九州市の保育園でのマイロック採用例です。

現在、保育園のセキュリティ意識はとても高いものになってきています。傷害や誘拐などの犯罪から園児を守るのは当然のことながら、窃盗に対する対策も必要としています。現金や個人情報を盗み出す目的で、夜間は無人で侵入も難しい保育園や幼稚園を狙った窃盗犯も過去に存在しました。

そのような被害を受けないための防犯対策として、主なものは

- ・防犯カメラを設置する
- ・施錠を強化させる
- ・壁やフェンスを高いものにする
- ・関係者以外の入園者には手続きを取る
- ・防犯訓練や研修の実施による保育士の意識向上

などが挙げられます。

今回、採用いただいた保育園でも、保護者に安心してもらうために、そして何より園児を守る為に、今以上のセキュリティ強化を図るにはどうすればよいか、頭を悩ませていたそうです。

そこで、防犯警備でお馴染みのセコム株式会社のセキュリティサービスを導入し、それにあわせて**セキュラのマイロック**を採用いただきました。

施錠強化を実施するに当たっては、

①通常は常に鍵が閉まった状態で外部からの不審者の侵入を防止したい。

②ただし、園児の送迎時にはオープン状態にしたい。

とのご要望がありました。そこでマイロックを使って頂く事で

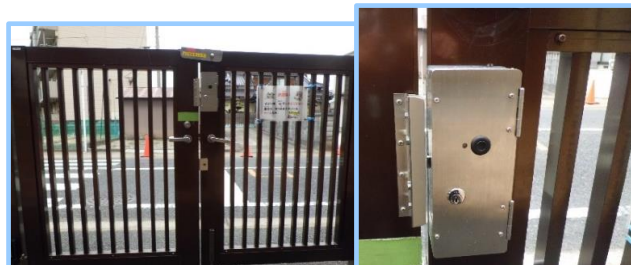
①オートロックであり鍵の閉め忘れが無いため、部外者が侵入できない

②連続解錠の機能を活用し、送迎の時間は常時解錠状態

と施主様の要望通りの施錠システムを提供することができました。



多くの園児や父兄の方も出入りする正門。園児が誤って操作しないよう門扉最上部にテンキー部を設置し、さらにBOX内に格納しました。



正門の園内側です。カギ付のステンレスBOX内にリア本体部を格納。イタズラ防止の為、解錠ボタン以外は、責任者しか操作できないようになっています。



遠隔用の受信機を格納。リモコンで離れた場所からでも解錠できます。



裏門にも同様にマイロックを設置。セキュリティ対策は万全です。

『旭化成ホームズ(福岡支店)』

安全衛生大会に参加しました』

旭化成ホームズ株式会社様が開催された「安全衛生大会」ならびに「メンテナンス業者安全会議」にセキュラも出席いたしました。

同会議は旭化成のパートナー企業が一堂に集まり、現場での事故・災害を撲滅するために安全点検の徹底や作業フローの確認などを行うものです。我々も改めて安全第一の重要性を再認識させていただく良い機会となりました。

作業を安全に進めることは当然ながら、**作業時の挨拶、お客様への丁寧な対応、清潔感ある服装、作業後の清掃等については、徹底して行うよう心掛けています。**

「住まい」という商品を作り上げているのは私だけでなく、多くの関係企業様との協力のもとにあることを忘れず、今後も精進を重ねて参ります。



約300名の関係業者が参加されていました。

今月の言葉

【後悔】

人は後悔する生き物と言われています。

では、どんな時に後悔するのでしょうか？

それは、やらなかったことに対して後悔すると考えます。

やったことへの後悔とは、それをやったから後悔するではなくて、中途半端にやっしまい本気でやらなかったことへの後悔と言えるのではないのでしょうか。十分やりつくした後ならば、どんな結果であれ後悔はしないと思います。

仕事に置き換えた場合、情報を集め、知識を習得し、技術を身に付け、想定されるリスク管理を行い、事前準備を万全にし、現場で精一杯行動し、うまくいかなければしっかりと検証し、改善を行い、再度現場で精一杯行動し、うまくいくまで繰り返し活動し続ける。

すべての行動を全力で行ったならば、たとえ思い通りの結果にならなかったとしても「全てやり切った」と自分に納得し吹っ切れる事ができると思います。

意識や行動はすぐに次のターゲットへと向かうことでしょう。

逆に中途半端な行動をとれば、いつまでたっても目標に届かず、いたずらに時間だけ過ぎ、後から「もっとこうしていればよかった」と後悔することになります。

後悔をしないためには、将来を見据えながら、目の前のことに一生懸命に全力で取り組むことが大切であると思います。



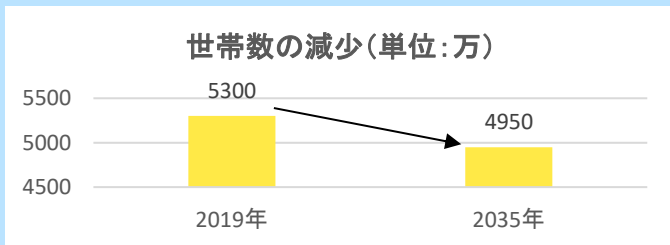
セキュラピック ~ 「2019年問題」

2018年がスタートしたばかりです。今年一年を充実したものにするためには来年を見据えることも重要です。そこで出てくるのが**不動産業界における「2019年問題」**です。

人口減少が叫ばれて久しい今日ですが、これまでは単身世帯の増加により、世帯数自体は維持されてきました。しかし、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」の報告によると、**来年の2019年の5300万世帯をピークに世帯数は減少に転じ、2035年には4950万世帯まで減少することが予想されています。**

世帯数の減少は、住宅の需要も減少します。現在も増えつつある空室問題や、地価や中古物件の下落などの影響が出てくる可能性があります。

またその反面、利便性の高い物件や、付加価値の高い物件は値下がりすることなく売買されるとみられ、物件の格差は今まで以上に大きなものになるかもしれません。



この問題は、これまで以上にお客様に支持される商品・サービスの提供が必要になってくることを意味していると感じます。

高齢者向けのバリアフリー仕様の物件であったり、未婚・非婚・晩婚・離婚などによる小人数世帯向けのコンパクト住宅の物件など、時代の背景に合わせて、なおかつ魅力のある物件づくりが求められてくる事と思われます。

セキュラのマイロックを設置することは、セキュリティと利便性の両面から見ても、物件の差別化を図るための大きな手段であると考えます。

あらゆるお客様の為に、より良い商品作り、そしてアフターサービスの充実を図り、お客様の満足するサービスの提供を続けていく所存です。

ちなみに、2019年における社会問題はこれだけではありません。他にもある『2019年問題』を右側の欄に紹介します。

「太陽光発電の2019年問題」

2009年に始まった「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による太陽光発電の固定買取価格の保証期間(10年)が満了する人が出てくるという問題です。

今までは、家庭における余剰電力を1kWhあたり48円で電力会社が買い取る必要がありましたが、10年を経過することで買取義務が無くなります。そのことで、買取価格の急落や、場合によっては買取終了となる場合も考えられます。

太陽光発電を設置をした人の中にはコストを回収できない人も出てくるかもしれません。

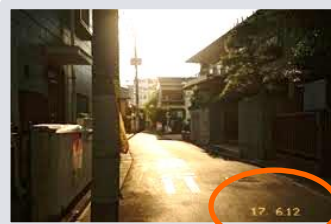
こうした事が、社会にどのような影響があるのか、そしてどう対処していくのかを考えなければならぬのが太陽光発電における2019年問題なのです。



「造船の2019年問題」

数年前からテーマになっている問題です。2019年以降の輸出船受注減に加え、世界的な商船の船価低迷により、造船不況が長引く恐れがあります。

現在は大手造船会社の業務提携や、官需の影響による市況回復が期待されます。



「フィルムカメラの2019年問題」

現在、写真撮影はスマホが主流ですが、十数年前まではフィルムカメラを使用していました。ひょっとすると今でもフィルムカメラを愛用されている方がいらっしゃるかもしれませんが、逆に若い人はその存在すら知らないかもしれません。フィルムカメラの大きな特徴の一つとして、写真に日付を入れる機能が搭載されています。写真を現像した際に撮影年月日が写し込まれる機能です。

多くのフィルムカメラが、製品の機能上2019年までしかカウントできず、日付機能を使用できるのは2019年12月31日が最後になるとの事です。

「元号の2019年問題」

2019年5月1日に元号が改正されることとなりました。2000年問題の時と同様、コンピュータなどシステムへの影響が懸念されます。そして、元号改正にちなんで問題とされているのがゴールデンウィーク問題です。

「ゴールデンウィークの2019年問題」

2019年のゴールデンウィークは3連休の後に平日が3日、そして4連休となりますが、5月1日は元号改正の日です。もしこの日が平成と同様に、『改元の日』として国民の祝日となった場合、右のようになります。

ここで留意したいのが「国民の祝日に関する法律」の第三条の3です。そこには、「その前日及び翌日が『国民の祝日』である日は、休日とする」とあります。

つまり、国民の祝日に挟まれた日は休日になるということで、4月30日と5月2日は法律上休日となり、10連休が発生する可能性があります。

しかしながら10連休ともなれば、休む前に片付ける仕事は当然増えますし、休み明けにこなす仕事も当然増えます。またサービス業の方は通常の連休よりもっと多忙になるかもしれません。経済効果は置いておくとして、休日が続くのも考えものかもしれません。

4月27日(土)
4月28日(日)
4月29日(月) 昭和の日
4月30日(火)
5月1日(水) 改元の日 ◀
5月2日(木)
5月3日(金) 憲法記念日
5月4日(土) みどりの日
5月5日(日) こどもの日